



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 ゼット株式会社
コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	24,906	10.5	602	174.0	761	64.4	498	32.8
2022年3月期第2四半期	22,538	32.9	219		463		374	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 728百万円 (48.6%) 2022年3月期第2四半期 1,417百万円 (914.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	25.45	
2022年3月期第2四半期	19.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	27,493	11,820	43.0	603.84
2022年3月期	25,309	11,189	44.2	571.65

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,820百万円 2022年3月期 11,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 6円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	7.2	800	62.6	1,000	12.9	700	3.2	35.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日開示いたしました「第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	20,102,000 株	2022年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	527,054 株	2022年3月期	527,054 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	19,574,946 株	2022年3月期2Q	19,574,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が続くなか、ワクチン接種普及等の各種政策により景気回復の兆しが見られましたが、地政学リスクによる原材料価格の高騰、物流コストの増加、為替相場における急激な円安進行などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、基本方針として「新しい価値の創造」「利益の創出と社会的使命の両立」「人材の戦略的活性化」「次世代DX卸ビジネスモデルへ向けて」を定め、特に具体的な施策として「構造改革の更なる前進」「ESG経営の推進」の2つを進めております。「構造改革の更なる前進」については、①収益性の向上 ②利益を伴った売上拡大 ③在庫・物流改革に取り組んでおり、「ESG経営の推進」については、①環境への対応 ②社会との調和 ③ガバナンスの強化に取り組んでおります。この方針及び施策のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24,906百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は602百万円（前年同期比174.0%増）、経常利益は761百万円（前年同期比64.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は498百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

部門別の経営成績は次のとおりであります。

（卸売部門）

卸売部門は、「アスレチックス」マーケットにおいては、学校部活動等が正常になりつつあり、大会等イベントも再開される中、特に屋内スポーツの活動回復により卓球用品は引き続き好調であり、テニス・バドミントン用品も好調でした。また、野球・ソフトボール用品も堅調でした。「ライフスタイル」マーケットにおいては、スポーツカジュアルのアパレル用品が好調で、アウトドア用品はブームから少し落ち着きつつある中、引き続き堅調でした。「ボディケア」マーケットにおいては、外出機会の増加もあってウォーキングシューズが堅調でした。

この結果、売上高は24,028百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

（製造部門）

製造部門は、野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」は、オーダーグラブが引き続き堅調で、前期の納期遅延により販売機会が当期にずれ込んだこともあって堅調でした。しかし、バスケットボール用品の「コンバース」は、海外の協力工場からの納期遅延が続き苦戦しました。

この結果、売上高は126百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

（小売部門）

小売部門は、店頭販売における来店者数が増加したことにより増収となり、登山用品ECサイトは専門店色を強化したことにより微増収でした。小売部門の業績としては回復基調にあるものの依然として厳しい状況であり、引き続き増収に注力し利益回復に努めます。

この結果、売上高は254百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

（その他部門）

スポーツ施設運営部門は、約1ヶ月間の休業をした前年同期からは増収となりましたが、経営環境は厳しい状況が続いています。

物流部門は、外部受託業務の取扱い数量が増加したことにより堅調でした。

この結果、売上高は496百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は21,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,006百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,472百万円、商品及び製品が273百万円、売掛金が208百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,058百万円となり、前連結会計年度末に比べ177百万円増加しました。これは主に投資有価証券が259百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は27,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,183百万円増加しました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13,358百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,557百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が1,281百万円、電子記録債務が275百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が62百万円増加したものの、長期借入金が80百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は15,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,553百万円増加しました。

（純資産）

当第2四半期連結会計年度末における純資産合計は11,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ630百万円増加しました。これは主に利益剰余金が400百万円、その他有価証券評価差額金が177百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.0%（前連結会計年度末は44.2%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により1,690百万円獲得し、投資活動により21百万円使用し、財務活動により216百万円使用した結果、当第2四半期連結累計期間における残高は6,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,472百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は1,690百万円（前年同期比492百万円増加）となりました。これは主に棚卸資産の増加334百万円、売上債権の増加267百万円があったものの、仕入債務の増加1,557百万円、税金等調整前四半期純利益761百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は21百万円（前年同期比63百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は216百万円（前年同期比55百万円増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出103百万円、配当金の支払額97百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績と今後の動向を踏まえ、2022年5月12日に公表しました通期連結業績予想を変更しました。なお、当該予想値の修正に関する事項は、本日（2022年11月10日）公表しました「第2四半期連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,172	6,645
受取手形	587	603
売掛金	8,177	8,386
電子記録債権	1,492	1,535
商品及び製品	3,329	3,602
仕掛品	59	73
原材料及び貯蔵品	150	197
返品資産	411	311
その他	167	201
貸倒引当金	△120	△122
流動資産合計	19,428	21,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,715	2,717
減価償却累計額	△2,122	△2,138
建物及び構築物 (純額)	592	578
土地	1,228	1,228
その他	846	810
減価償却累計額	△728	△714
その他 (純額)	118	95
有形固定資産合計	1,939	1,902
無形固定資産		
その他	158	142
無形固定資産合計	158	142
投資その他の資産		
投資有価証券	3,228	3,487
長期貸付金	11	10
敷金	221	221
その他	527	497
貸倒引当金	△204	△203
投資その他の資産合計	3,784	4,013
固定資産合計	5,881	6,058
資産合計	25,309	27,493

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,210	7,492
電子記録債務	3,712	3,988
短期借入金	206	183
未払法人税等	148	285
未払消費税等	124	107
賞与引当金	229	398
返金負債	482	365
その他	685	536
流動負債合計	11,801	13,358
固定負債		
長期借入金	325	245
繰延税金負債	655	718
退職給付に係る負債	334	344
長期未払金	11	11
その他	992	996
固定負債合計	2,318	2,315
負債合計	14,120	15,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	5,321	5,722
自己株式	△74	△74
株主資本合計	9,221	9,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,948	2,125
繰延ヘッジ損益	6	37
為替換算調整勘定	26	46
退職給付に係る調整累計額	△13	△10
その他の包括利益累計額合計	1,968	2,198
純資産合計	11,189	11,820
負債純資産合計	25,309	27,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	22,538	24,906
売上原価	18,300	20,316
売上総利益	4,238	4,590
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	206	208
運賃及び荷造費	487	487
賃借料	138	142
役員報酬及び給料手当	1,415	1,397
貸倒引当金繰入額	180	2
賞与引当金繰入額	272	373
減価償却費	73	58
その他	1,243	1,317
販売費及び一般管理費合計	4,018	3,987
営業利益	219	602
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	31
受取賃貸料	4	4
業務受託料	3	3
助成金収入	211	111
その他	14	13
営業外収益合計	246	164
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	2	5
営業外費用合計	3	6
経常利益	463	761
税金等調整前四半期純利益	463	761
法人税、住民税及び事業税	114	260
法人税等調整額	△26	2
法人税等合計	88	263
四半期純利益	374	498
親会社株主に帰属する四半期純利益	374	498

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	374	498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,031	177
繰延ヘッジ損益	0	30
為替換算調整勘定	9	19
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	1,042	230
四半期包括利益	1,417	728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,417	728

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	463	761
減価償却費	77	61
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	179	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	59	168
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	10
受取利息及び受取配当金	△11	△31
支払利息	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△247	△267
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△353	△334
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,195	1,557
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△68	△17
その他	△94	△126
小計	1,210	1,783
利息及び配当金の受取額	11	31
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△21	△123
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,198	1,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△15	△10
無形固定資産の取得による支出	△58	△6
投資有価証券の取得による支出	△3	△6
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	△9	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△103	△103
配当金の支払額	△38	△97
その他	△18	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160	△216
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	961	1,472
現金及び現金同等物の期首残高	4,838	4,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,799	6,345

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。